



# 校長室だより

黒部市立荻生小学校  
文責：校長 寺島紀子  
令和5年3月15日  
第44号

## 心も体も春に向かってたくましく

時折寒い日を間にはさみながらも、ふわふわと春の風を感じる日が多くなってきていますね。子供たちは相変わらず元気に過ごしています。休み時間ともなると、体育館や多目的ルーム、そしてグラウンドと、思い思いの場所で楽しく遊びこむ姿を見ると心も体もたくましく育っているのを感じます。子供たちの尽きることのないエネルギー！ たいしたものです。



## ★当面は「校内ではマスク着用」を基本として、3学期を乗り切ります

さて、「マスクの着脱は個人判断で」という全国的な動きを受け、気にしておられる保護者の方も多いのではと思います。本校では現在、卒業式と年度末を間近に控え、コロナだけでなくインフルエンザの感染予防にも努めたいとの考えから、当面はこれまでどおり、校内ではマスク着用を基本としていきます。13日（月）朝の授賞集会の折に、保健の柳原先生から子供たちに話をしてもらいました。



なお、17日（金）の卒業式は、「6年生と6年担任はマスクを外す（希望者は着けてもよい）」「在校生、保護者、来賓、教職員はマスク着用。ただしステージ上、マイク前ではマスクを取る」の方針で、全校が体育館に集まって実施する予定です。卒業する側も見送る側も、いつもどおり朝の検温と健康チェックを念入りをお願いします。

## 卒業式を目前に控えて

6年教室の壁面には「卒業まであと何日」のカウントダウンカレンダーの紙が日ごとに追加されています。各自が1枚ずつ担当した紙にはそれぞれクラスメイトへのメッセージも書き込まれ、眺めているだけで気持ちが高まります。

先日の書写の時間には、卒業制作として、各自の思いを表す漢字を書き上げていました。半紙に何度か練習した後、色紙に清書です。簡単には失敗できないので、皆真剣な表情で取り組んでいました。思い通りの完璧な作品には仕上がらなかった子もいたようですが、真剣に取り組んだ字はどれも味わいがあり、それでよいと思いました。

このほか図工の時間に取り組んだ作品もあるということで、これらはすべて卒業式の日校内展示される予定です。6年生の保護者の皆様、しっかり作品を鑑賞してくださいね。



## ★全校での卒業式練習で子供たちの気持ちの高まりを感じました

今年度の卒業式は在校生も全学年集まって行います（昨年度は5年生のみでした）が、内容等は少しスリムなものになります。そのため、全校での練習もポイントをしぼり、2回のみ（そのうち1回は予行練習）としました。

14日（火）は1回目の全体練習でした。6年生の出入りや在校生の動きに関係のある箇所を中心に行いましたが、キリリとした気持ちのよい練習で、担当の霜野先生も「1回でこんなに上手にできるとは思わなかった」と子供たちをほめていました。在校生の気持ちも卒業式に向けてしっかり高まってきています。



★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。



## 新年度に向けて 今年度最後の地区児童会

13日(月)は今年度最後の地区児童会でした。分団ごとの場所に集まり、来年度のメンバーの確認をしました。本校は日頃は個人個人の登下校ですが、年度当初やいざというときには近所の子供同士で集団登下校を行います。4月から入学してくる新1年生の情報も出し合い、各班のメンバーや集合場所、時刻等を一人一人が紙にメモしました。6年生は下級生の様子を見守りアドバイスをしていました。最後に、全校が体育館に集合した後、担当の教職員に付き添われながら集団下校をしました。

地域の皆様の見守りと安全運転のお陰もあり、今年度も毎日の登下校が安全・安心に行われました。あ



りがとうございました。これからも引き続きよろしくお願ひいたします。

### シリーズ「教室におじゃまします」 3/10(金)5年国語科の巻

今年度の国語の学習も終わりに近付いています。5年生は「話す・聞く」のスピーチとして「提案しよう 言葉とわたしたち」の学習に取り組んでいます。元々は1人ずつ

テーマや内容を決めて取り組むところを、板本先生は子供たちの実態から、「グループで1つの提案をする」という方式にアレンジしていました。それも一案ですね。

前の時間までに各グループで考えた提案内容は「授業中は私語をしないようにしよう」「あいさつを大きな声で交わそう」といった素直な提案です。ただ、「意見」だけでは説得力が足りないのでは、アンケート結果等のような「事実」が必要となります。

では、だれにどのようなアンケートをとるのか、また、それ以外にもどのような資料が必要か、そうして全体の内容を考えるのがこの日の学習でした。高学年らしい難しい学習内容ですが、グループで意見を出し合うことで少しずつ意見がまとまっていくようで、板本先生のアレンジ作戦がバッチリ功を奏していました。

また、ただ思いつきでアンケートの質問を考えるのではなく、どのような結果になりそうかも予想して、スピーチ全体の構成をあらかじめ考えておく必要もあります。先生は、そういったところも助言しながら教室を回り、子供たちも不明な点を質問していました。スピーチがどのように仕上がるのか、楽しみです。



**おまけの<ひとごと>** 今年の卒業式のもちかたについて、市内の小中学校の校長先生方と何度か情報交換したのですが、市内どの学校もこの方法で、という統一した形はないようです。「在校生は5年生のみ。そのかわり児童は全員マスクをとる」「全校児童が参加するが、在校生の呼びかけはなし」等々、それぞれの学校の規模や実情に応じて方針を決め、できる限りの配慮と工夫をしようです。ただし、共通しているのは、どの学校も「子供たちの思い出に残る卒業式にしたい【してあげたい】」という願いをもって精一杯の工夫をしているということです。いい卒業式になりますように…。私はこれから式辞を再考します(遅い!)

★この「校長室だより」のカラー版は本校のホームページをご覧ください。★ご意見、ご感想をお待ちしています。下に記入しご提出ください。